情報活用能力の育成カリキュラム　ver1 （〇〇〇〇〇小学校版）

**～**情報活用能力**は，教師（あなた）が，いつも教えている単元等で，ちょっとだけ意識すると，育成することができます。～**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 要素 | 概　要 | 学習内容 | 関連する単元等 |
| 低　学　年 | 中　学　年 | 高　学　年 |
| 活動スキル | コンピュータや図書などのさまざまな情報手段を活用するための基礎的な知識・技能  | A1:タブレットで撮影・編集するA2:PCで文字入力やファイル管理するA3:WEB閲覧・検索するA4;図書館で図書・資料を探すA5:インタビューするA6:アンケートをするA7:メモをとるA8:口頭で発表する | 〇情報を集めたり，発信したりすることに関わる基本的な活動をマナーを守って行うことができる。 | 〇情報を集めたり，発信したりする際にコンピュータを含む情報手段を適切に活用することができる。 | 〇情報を集めたり，発信したりする際，適切な手段を選んで活用することができる。 |
|  |  |  |
|  |
| 探究スキル | 収集した情報を精査し，整理・分析し，まとめ・表現する際に働く思考・判断・表現力 | B1:情報の信頼性を吟味し,取捨選択するB2:複数の情報を読取り,比較・分析するB3:情報を組み合わせて新たな考えを作るB4:伝達内容を構成するB5:表現手段を選び，特性にあった工夫をするB6:受け手を意識した表現を工夫するB7:探究する計画をたてるB8:ふりかえり，計画の改善をする | 〇情報を編集（整理・分析や表現）する際，与えられた視点や観点のもとで工夫して取り組むことができる。 | 〇情報を編集（整理・分析や表現）する際，学びの見通しを持って視点や観点を理解し，試行錯誤することができる。 | 〇情報の収集・編集（整理・分析や表現）・発信の過程を自ら組み立て，状況に応じて評価・改善することができる。 |
|  |  |  |
|  |
| プログラミング | 問題解決の手順を理解し，コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現する力 | C1:物事を部品（部分）に分けてとらえるC2:部品の関係性をみつけるC3:問題解決の手順を組み立てるC4:ラベルをつけて分類するC5:多くのデータから傾向をみつけるC6:試行錯誤を繰り返して解決するC7:情報技術の将来を考える | 〇問題の解決には手順があることを理解する。 | 〇問題解決や表現活動の際，コンピュータに与える論理的な手続きやデータをさまざまに工夫できることを体験的に理解する。 | 〇コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して，情報技術の価値を社会や自らの将来に関連づけて考えることができる。 |
|  |  |  |
|  |
| 情報モラル | 情報社会や情報手段の特性の理解と，安全かつ適切に情報手段を活用しようとする態度 | D1:発信者としての責任D2:著作権や肖像権等の権利D3:情報技術と健康D4;ルールをつくり，守ることD5:セキュリティD6:個人情報の扱いD7:情報社会の将来を考える | 〇自他の情報を大切にし，ルールを守って安全に情報手段を使用しようとする。 | 〇情報手段の利便性と危険性を理解し，自他への影響を考えて適切に使用しようとする。 | 〇情報社会の価値や課題を認識し，情報手段の適切な活用や啓発に積極的に取り組もうとする。 |
|  |  |  |
|  |